

ASK ニュース

Vol.0187

2016年1月18日(月)
担当：MS事業部 松村

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F
ASK 税理士法人 TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

近江商人

はじめに

会社の第一の目的とは、何でしょう？「会社の利益を上げること」と答える人もいるでしょう。利益は会社にとって大切です。間違いではありませんが、他にもあります。

ドロッカー

経営学者のドロッカーは、「企業の目的は、顧客の創造である。」と言っています。

「利益の追求」だけを目標にすれば、偽装、虚偽表示、押し込み販売など顧客を裏切る行為や、顧客、取引先、従業員の利害関係が対立することになります。会社(組織の一つ)は、社会に貢献してこそ、はじめて存在意義があります。貢献する顧客がいること、ニーズに答える事が、会社の存在意義となります。どんなビジネスであれ会社には必ずお客様がいます。このお客様が私たちの提供する商品やサービスに価値を認めてもらわれないかぎり会社は存続できません。

近江商人の「三方よし」

近江商人は、日本ビジネスの源流のひとつだと言われています。その教えのひとつが「売り手よし、

買い手よし、世間よし」の「三方よし」の考え方です。近江商人は日本全国を行商して歩いた人たちですが、その基本行動は仏の心で商品を全国各地に届けることでした。各地に不足しているものをその土地の人のために届けるというのが彼らの根源的な役割だと認識していました。それぞれの地域で足りないものを届け、その地域の人役に立ち、その行商という活動を通して利益をあげさせてもらうというものです。

この考え方を承継している企業に伊藤忠商事㈱があり、商業150年以上続いています。

終わりに

自分の会社の利益だけを一番に考えているような会社が永きにわたって繁栄したことはあるでしょうか。世の中のためになって、初めて会社が長く継続するものだと思います。

社会の必要なものは何か？アンテナを張り世の中の動きを把握しましょう。

